

JIS

鉄鉱石－バナジウム定量方法－ 第2部：原子吸光分析法

JIS M 8225-2 : 2025

(JISF)

令和7年7月22日 制定

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般社団法人日本鉄鋼連盟標準化センター 原料規格三者委員会（産業標準作成委員会） 構成表

| | 氏名 | 所属 |
|--------|---------|-------------------|
| (委員長) | 尾 島 善 一 | 東京理科大学名誉教授 |
| (副委員長) | 田 中 龍 彦 | 東京理科大学名誉教授 |
| (委員) | 伊 藤 英 樹 | 海外貨物検査株式会社 |
| | 稲 角 忠 弘 | 東京大学 |
| | 堤 紳 介 | 一般財団法人日本規格協会 |
| | 錦 織 歩 | 株式会社神戸製鋼所 |
| | 厚 東 直 毅 | JFE スチール株式会社 |
| | 川 本 悠 人 | 日本製鉄株式会社 |
| | 矢 野 博 之 | 伊藤忠商事株式会社 |
| | 服 部 麻 紀 | 住友商事株式会社 |
| | 矢 野 知 秀 | 双日株式会社 |
| | 鶴 岡 翔 | 丸紅株式会社 |
| | 園 田 素 康 | 三井物産株式会社 |
| | 田 中 裕 美 | 三菱商事 RtM ジャパン株式会社 |

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 7.7.22

担 当 部 署：経済産業省イノベーション・環境局 国際標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 7.7.22

認定産業標準作成機関：一般社団法人日本鉄鋼連盟

(〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-2-10 鉄鋼会館 TEL 03-3669-4826)

審 議 委 員 会：一般社団法人日本鉄鋼連盟標準化センター 原料規格三者委員会（産業標準作成委員会）
(委員長 尾島 善一)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

| | ページ |
|------------------------------|-----|
| 序文 | 1 |
| 1 適用範囲 | 1 |
| 2 引用規格 | 1 |
| 3 用語及び定義 | 2 |
| 4 一般事項 | 2 |
| 5 要旨 | 2 |
| 6 試薬 | 2 |
| 7 装置及び器具 | 3 |
| 8 試料のはかりとり | 4 |
| 9 操作 | 4 |
| 9.1 試料溶液の調製 | 4 |
| 9.2 吸光度の測定 | 5 |
| 10 空試験 | 5 |
| 11 検量線の作成 | 5 |
| 12 計算 | 6 |
| 13 許容差 | 6 |
| 附属書 JA (規定) 原子吸光分析装置の装置性能基準 | 8 |
| 附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表 | 10 |
| 解 説 | 13 |

まえがき

この規格は、産業標準化法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般社団法人日本鉄鋼連盟（JISF）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。これによって、**JIS M 8225:2013** は廃止され、その一部を分割して制定したこの規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

JIS M 8225 規格群（鉄鉱石－バナジウム定量方法）は、次に示す部で構成する。

JIS M 8225-1 第 1 部：*N*-ベンゾイル-*N*-フェニルヒドロキシルアミン抽出分離吸光光度法

JIS M 8225-2 第 2 部：原子吸光分析法

鉄鉱石—バナジウム定量方法—

第2部：原子吸光分析法

Iron ores—Determination of vanadium— Part 2: Flame atomic absorption spectrometric method

序文

この規格は、2009年に第1版として発行されたISO 9683-2を基とし、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で、附属書JAは、対応国際規格の本体で規定されている事項の一部を附属書として規定したものである。また、側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、附属書JBに示す。

1 適用範囲

この規格は、鉄鉱石中のバナジウム定量方法のうち、原子吸光分析法について規定する。

この方法は、バナジウム含有率（質量分率）0.001%以上0.5%以下の定量に適用する。

注記1 JIS M 8225 規格群の定量範囲を表1に示す。

表1—JIS M 8225 規格群の定量範囲

| 規格番号 | 定量範囲 [質量分率 (%)] |
|--------------|------------------|
| JIS M 8225-1 | 0.05 以上 1.0 以下 |
| JIS M 8225-2 | 0.001 以上 0.5 以下 |

注記2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 9683-2:2009, Iron ores — Determination of vanadium — Part 2: Flame atomic absorption spectrometric methods (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS K 0121 原子吸光分析通則